

研究課題名	<p>2017-048</p> <p>外傷性肘関節伸展拘縮に対する観血的関節授動術後の屈曲維持用スプリント使用例の治療成績</p>
実施責任者	<p>名古屋掖済会病院 リハビリテーション部 作業療法士 川口稚乃</p>
研究の概要	<p>外傷性肘関節伸展拘縮に対する関節授動術は、術後に関節の可動域が低下することがあり、当院では屈曲維持用スプリントを使用してきました。</p> <p>電子カルテシステムより情報を収集して、外傷性肘関節伸展拘縮に対する関節授動術後の屈曲維持用スプリントの有効性について検討を行います。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	<p>2014年 3月 13日 より</p> <p>2017年 2月 8日 まで</p>
研究対象	<p>上記の期間に、当院の整形外科にて外傷性肘関節伸展拘縮に対して関節授動術を行いました患者様が対象となります。</p>